

# USBメモリだけで安心していませんか？

## 緊急事態を想定した卒論・レポートデータの保存方法 ～クラウドサービス・webメールの活用～

卒業研究や論文の提出・発表が近づくと、毎年耳にするお話があります。

それは「論文や研究のデータが消えた！」という学生の悲鳴です。

レポートなどのデータをパソコンのデスクトップやUSBメモリに保存するという方は多いでしょう。しかしこれらの保存方法は、パソコン本体が故障してしまったり、USBメモリをなくしたりしてしまったり、一瞬にして消えてしまうという危うい一面があります。

今回はパソコンやUSBメモリにアクシデントが起こったときに、大切なデータを守ることができる保存方法を2つ紹介します。



### ① クラウドサービス

パソコンやスマートフォンで作成したデータや画像などを、パソコン・スマートフォン本体ではなくインターネット上に保存し、閲覧・編集できるサービスです。

AppleやGoogle、Microsoftなど有名な会社が無料で提供しているものが多いので、使っているパソコンやスマートフォンと連携した利用ができます。

また、レポートの提出日などにUSBメモリを忘れてしまったときにも、大学のパソコンからクラウドサービスにアクセスしてデータを取り直すこともできます。

### ② webメール

もう一つの方法は、パソコンなどで作成したデータを、webメールに添付して自分宛に送信するという方法です。

もし、パソコン本体のデータが消えてしまっても、メールの受信ボックスを開けばファイルをもう一度パソコンに保存することができます。また、大学が提供しているwebメールを利用すれば、大学のパソコンからも簡単にアクセスすることができます。



パソコンやUSBメモリに予期せぬアクシデントはつきものです。  
さまざまなサービスを利用して、大切なレポート・論文のデータを守っていきましょう！